



スキー授業でボランティア

1月中旬～2月下旬 石狩平原スキー場

町教育委員会では、学校の取り組みを地域全体で支援をしようと学校支援ボランティアの取り組みを進めています。

今回は、町内小中学校でのスキー学習で池内芳美さん、川端勝人さん、原田栄子さんの3名がボランティアでインストラクターを務めました。

日頃から当別スキー連盟や石狩平原スキースクールで指導をしている3名は、児童生徒にスキーの基本である体重のかけ方やスピードコントロールの方法を教え、一緒に滑ることでスキーの楽しさを伝えました。

「悔しさをバネに」福島選手の講演

2月20日 白樺コミュニティセンター

当別町体育協会の創立50周年を記念した講演会が行われました。

前回北京五輪の陸上女子100m代表選手の福島千里選手の講演では「中学、高校生の大会ではいつも2位、その悔しさが今のエネルギーになっている。」との話があり、中村監督も「スポーツの指導には一貫性が大切。技術的なことより競技に向かう環境づくりに力を入れています。」と指導の奥義を披露しました。

今回のロンドン五輪や、その次のリオデジャネイロを目指している2人に会場から声援が送られました。



コンマ1秒を競う アルペンスキー大会

2月13日 石狩平原スキー場

当別スキー連盟の主催により、第1回当別アルペンスキー大会が開催されました。

この大会は、昨年まで開催されていた当別町民スキー大会と当別ジュニアスキー大会が1つになり、今年から新しくスタートしました。45名の選手達は、アルペンスキーの大回転種目で難しいセットに苦戦をしながらも果敢にポールの内側を攻め、2本合計のタイムで勝敗を競いました。

